

富士山に向かって
何かひと言。

NPO法人 伊豆開花クラブ

はじめに

「湯ヶ島の村を通過して宿所の寺院へ向かう途中、その道路から私は右にそれた。
そして、その瞬間、私は始めて富士山を見た。

それは名状することができない偉大な景観であった。
ここから眺めると、この山は全く孤立していて、約一万フィートの高さで、見たところ完全、
かつ、壮麗な円錐体をなして、聳えたっている。しかも、これと高さをくらべる付近の小山がな
いために、その実際の高さ以上になって見える。それは雪で覆われていた。輝いた太陽の中で（
午後4時ごろ）凍った銀のように見えた。

その荘厳な孤高の姿は、私が1855年1月に見たヒマラヤ山脈の有名なドヴァルギリよりもめざ
ましいとさえ思われた。」（岩波文庫訳）

これは1857年、安政4年10月8日（西暦11月24日）、アメリカ初代駐日領事として伊豆下田に滞
在したタウンゼント・ハリスが初めて富士山を見たときの印象を日本滞在記に書き残した日記の
一節である。

2月23日は富士山の日。
日ごろから、みなさんは富士山に対してどんな印象を持っているだろうか。
今回、NPO法人伊豆開花クラブでは「富士山に向かって何かひ言」、お祝いのメッセージを募
集した。
この本はその時に応募頂いた約50点すべての作品を収録したものである。

富士山に対する感じ方は時代の流れとともに変わってゆく。
皇太子殿下のお誕生日が2月23日だそうだから皇太子殿下が天皇陛下に即位されれば、毎年、2
月23日は国をあげての祝日となるし、世界遺産に登録することができた暁には富士山を愛する人
々が、こぞって、お祝いをするようになる。

「富士山に向かって何かひと言」
応募者された方々のご好意に感謝し、末永く記録しておきたいと願うものである。

2012年3月3日

静岡県伊豆市・伊豆の国市を中心にまちづくりに取り組んでいる

NPO法人 伊豆開花クラブ

第一回伊豆フェスティバルの概要。

2月23日は富士山の日です。

NPO法人伊豆開花クラブでは、伊豆市だるま山峠のパーキングエリアを借用して「第一回伊豆フェスティバル21012」を開催いたします。

会場でのイベント。

駿河湾を挟んでだるま山峠から見る富士山の眺めは、1939年アメリカニューヨーク万国博覧会に出品され、日本に富士山ありと言われるみなもととなりました。

当日、現地にお出かけいただいた方々には、地元特産の鹿肉、椎茸、ワサビ、おいしいお米日本一に輝いた「ニコマル」などを試食していただきます。

(先着100名様。)

・実行委員……関原規由

メッセージの募集。

223富士山の日を記念して「富士山に向かって何かひと言」。
心温まるメッセージを募集いたします。

応募 メッセージは100字まで、官製はがきでお願いいたします。

住所、氏名、年齢をご記入のうえご応募ください。

表彰 優秀作品は2012年2月23日伊豆市だるま山峠で開催予定の
「第一回伊豆フェスティバル」会場にて発表し、表彰いたします。

賞品 最優秀賞 一名。

優秀賞 三名他、地元特産品を進呈いたします。

締め切り 2012年2月10日。(消印有効)

宛先 〒410-2501 静岡県伊豆市下白岩1610

NPO法人 伊豆開花クラブ「ふじさん係り」

作品発表 応募いただきました全作品は、後刻、電子ブックとして発表します。

〒410-2501 伊豆市下白岩1610 NPO法人 **伊豆開花クラブ**

お問い合わせ 電話 080-5518-0242 (五十嵐 務)

伊豆開花クラブ大賞「赤伊豆」

「春がすみの空に、ふんわり浮かぶ富士山は母親。
幼い頃に聞いた温かい励ましの声が聞こえる。
寒風の中、凜として聳え厳冬を乗り切る富士山は
父親。
決して自分を甘やかしてはいけないと、諭す。
富士は我が心の支え。」

伊豆の国市 河合章二さん（75歳）

万大醸造賞（1名）

「おい、お富士さん。
今んところ、あんたは静かに、美しく、
日本を眺めていてくれた。
近頃の日本はどうだい？
あんたも怒るとかなり怖いらしい。
これからも怒らないでほしいが
もし、怒る時は、早めに教えてくれ」

伊東市 鈴木 功さん（61歳）

ハンドクラフト賞（三名）

「信長も秀吉も家康も日本一の富士山を眺めて

自分の野望と夢をかけた。

黒澤 明は素晴らしい作品を日本と世界の人々に
残した。

北斎も大観も感涙したのだ、
あの富士山の美しさに……。」

沼津市 田中輝朗さん

「富士山よ!!

あなたの美しい容姿は世界一だ。

日本人のすべての人はあなたに心癒され、
誇りに思っています。

だから、けつして、嘔（おこ）らないでくださいね。

そしていつまでも、いまの美しさのままで
いてください。富士山よ。」

新潟市 長谷川 昇さん

「凛々しきこと、富士山の如く

清々しきこと、富士山の如く

優しきこと、富士山の如く

大らかなること 富士山の如し

そうゆう人に私はなりたい。」

沼津市 山本貴史さん

藍染工房賞（3名）

「母が癌で死にました。
四十九日の法要で、父が私に言いました。
富士山で母さんとであったと。
生まれてはじめて聞きました。
昭和ひとけた生まれはことばが少ない。
母と生き写しのわたしがこれからは話し相手です。」

名古屋市 加藤紀子さん（53歳）

「十階のマンションの居間から富士山が見えます。
毎朝「おはよう」と声をかけますが、
雲で姿が見えない時は淋しく思います。
また、赤い夕日につつまれる姿は、
とても美しく心が洗われます。
これからも、いつまでも、私に元気をください。」

市川市 藤倉保子さん（70歳）

「おはようございます!!」と大きなあなたに挨拶をする。
今日の私はどんな風に見えますか？
辛い時、嬉しい時、あなたから吹く風や香りを感じながら
今日も私は生きていく。
変わらぬ姿よ、いつまでも。そして、ありがとう。」

伊東市 村上直美さん（49歳）

MOA美術館賞（5名）

・富士山、いつも美しい姿をありがとう。
そして、パワーをありがとう。
まっ白な雪をかぶり、でんと構えた富士山。
青くてスマートな富士山。
時には雲を頭にのせて、おしゃれな富士山。
私は日本一の富士山が大好きです。

伊豆市 杉山勝子さん（68歳）

・誘惑されました。
窓から見えるあなたの姿
均整のとれたプロポーションに
四季の花々との共演に
月光に白く浮きあがる衣裳に
時間を忘れて見惚れました。

伊豆の国市 松下大樹さん（49歳）

・妻は往年の写真を見せて、この綺麗な女（ひと）誰だか知っている、
と聞いた。
黒髪もスカーフも靡（なび）かせた容姿に躍動を覚える。
背景の冠雪した富士山に目を移すと、
「いいなあ、いつまでも美しくて」と言い、
白い物が混ざる頭を撫でていた。

三島市 木部博己さん（71歳）

- ・朝日に染まる富士良し、白雪に光る富士もまた良し、
夕映えに暮れなずむ富士はさらに良し、その勇姿。
見える日は心弾み、見えないと心沈む。
富士は世界に誇る日本の象徴。富士は私の心のシンボル。
富士山ありがとう。

東伊豆町 鈴木邦夫さん（70歳）

- ・秦の始皇帝が不毛・不死を願って富士山に妙薬を求めて
方士を送ったという伝説。
富士山はハスの花のように美しく、気品の高い仙山だという。
日本一、東洋一、世界一の美山、霊山だ。
名実共に、世界遺産だあーーー。

伊東市 斉藤光男さん（72歳）

工房「木奈」賞。（五名）

・富士山

私はあなたに興味がなかった。
でも今はあなたを見たいと思う。
私は本当にきれいなものをきれいと思えるようになった。
それは今生きている私の道にある。
少し成長した。
私はもっとかわりたい。
でも、富士山
あなたはかわらないでください。

函南町 佐藤美奈子さん（26歳）

・私のふる里は岩手県です。

長じて名古屋に嫁ぐことになり東京以南行ったことがない私は
ご両親に挨拶に行くことになりました。
新幹線に乗りポーツと車窓を見ていたら、突然富士山が現れました。
出たり、入ったりの富士山に「よろしくね、よろしくね」と
涙とともにくり返していました。

（それから40年、行ったり来たりするたびに
「ありがとう」の言葉が出ます。）

名古屋市 岸 協子さん（70歳）

「富士山は

日本国民のお母さん」

（毎日、暖かい心で見守っている。）

新潟市 山口ひろみさん (70歳)

- ・ 頭を雲の上に出し……富士は日本一の山。
この歌は幼い時から歌っているが、頭があれば顔も口もあってよい。
宝永火山は最後の噴火、その火口が口であり、
均整の稜線に暁富士の映える光景は実に素晴らしい。

伊豆の国市 宮内三郎さん (91歳)

- ・ 残念な富士山。
山道を外れて登ってみた。
裾野の原生林の不気味さ、自衛隊の射撃訓練、
登山道を外れた砂場 仮設のトイレが使えない。
糞溜 (ふんだめ) となって自然にかえれず
紙や汚物が散乱していた。
裾野の数箇所 to 廃棄物が捨置かれていた。
残念な富士。

北九州市 皆岡門太さん

富士山賞。

- ・私の大好きな山、それは富士山です。
どうぞ私たちを見守ってください。
富士山。

茨城県稲敷郡阿見町

大塚辰哉君

- ・とてもすてきな山、富士山
いろいろなすがたを私たちに見せてくれます。
ありがとう。富士山。

つくば市

大塚愛来さん

- ・毎日、雄大なすがた、とてもすきな山。
私の大好きな富士山。
私たちを見守ってください。

つくば市

大塚すてらさん

- ・いつも私たちを見守ってくれている富士山。
これからも見守ってください。
ありがとう。富士山。

つくば市

大塚 旭君

- ・私の大事な山、それは富士山です。
これからも私たちを見守ってください。
大好きな山。 富士山。

つくば市

大塚 光君

歩こう賞。

- ・ 私は侵略戦争で中国に派遣された生き残り復員兵士です。
定年後、中国残留孤児の身元引き受け人や日本語教室を開設し、
自立支援をしてきました。
そして、4世の双子姉妹に富士美と桜を命名。
富士山。二人が日本と中国の架け橋となるよう見守ってやってください。

名古屋市 神原 義勝さん（90歳）

- ・ 富士山、私はあの時の事をいつも思い出します。
東京への転勤がきまり、新しい住まいのマンションの窓に
あなたの英姿を見た時の驚きと感激です。
あなたの姿に励まされ、前向きに暮らすことが出来ました。

名古屋市 加藤 堅二さん（78歳）

- ・ 私の大好きな富士山に異変が起きていると聞き、さあ、大変!!
あの神々しく美しい姿が変わったらどうしよう。
特に、冬の雪景色は最高で、思わず手を合わせたくなる。
いつまでも変わらないでねと祈るばかりです。

名古屋市 高橋 多津子さん（68歳）

- ・ ばあちゃんー、ばあちゃんー。
富士山だよ、日本一の富士山だよ。富士山だよ、日本一の富士山だよ。
なんも、してあげられなくてごめんね。
みんなげんきだよ。みんなばあちゃん大好き、大好きだよばあちゃんー。
みててねっ、みんなのことふじさんからみててね。
ありがとう。ありがとう。ありがとう。

新潟県長岡市 須山すみ子さん（55歳）

- ・ 日本の富士、世界の富士、四季の流動はすばらしい。
全景の美は深く心を動かされる。
癒す心理の美点に視線を向け、
輝く日本の富士に「ありがとう」の声援を送ろう。

名古屋市 前原 貞夫さん（78歳）

- ・ 「東京電力福島原発事故の
一日も早い終息を祈ります。」

伊豆市 落合勝治さん

- ・ 富士さん、私はあなたのお顔を二つ知っています。
一つは生まれ育った旧清水市から優しく微笑むお顔。
一つは嫁ぎ先の伊豆の国市からエクボの可愛いお顔。
人生の半分づつを……毎日逢えて嬉しいです。

伊豆の国市 西原幸枝さん（55歳）

- ・ 決戦の大空を目指し九州から上京した少年を見送ってくれた富士山。
第二の人生で終いの住処となった南伊豆へ向かう一家を励ましてくれた
富士山。
そして、手術の時は必ずストレッチャーに手を振ってくれた富士山。
有難う。本当に有難う。

南伊豆町 中島 盟さん（83歳）

- ・ 「雄大で美しく優しい富士山へ。
富士山はどんな時でも私の人生の大切な心の支えでした。
富士山に励まされ、慰められ、一緒に笑ってもらいながら、
今月（2月12日）バースデーを迎えることが出来た私の心からのメッセージ。
富士山、本当にありがとう。バンザーーイ。」

伊豆市 村田明子さん

- ・ 自然美を世界に知らしめた。
富士山は日本のシンボルで、四季折々、さまざまな容姿を変え
人々の心を和ませてきました。
世界中に高い山はあるけれど、風光明媚で気高い山は無いと。
外国の友が羨んでいた。
静岡の顔、日本の顔、今や、世界中の顔。
季節ごとの富士山。

熱海市 佐賀 巖さん

- ・ 「天城越え、ハリス一夜の湯ヶ島で
富士たたえし故事 今に伝わる」

伊豆市 宇田晴湖さん（84歳）

- ・ 奇しくも「富士山の日」が皇太子様と私の誕生日が一緒。
昨年11月中旬、山中湖畔に4日間滞在しながら、あちらこちらへ。
いつも雲に遮られ、富士山は姿を現さず、
シャッターチャンスがなかったので、また、チャレンジします。

名古屋市 吉田 邦子さん（65歳）

- ・ 「富士山を箱に入りたい。

日本一の富士山、どうか形をくずさないで。」

新潟市 川島定子さん

- ・ 毎年、富士山の清掃活動している登山家が居ますが、日本人でありながら富士山にゴミを捨てる気持ちがわかりません。身近でのゴミ捨ても目立ちます。日本人の道徳心が問われそうです。「登山者よ!! 自分のゴミには責任を持て」と言いたいです。

名古屋市 佐藤 誠子さん（63歳）

- ・ 富士山を描いてと言われたら、幼児から高齢者まで、いとも簡単に描ける富士山こそ、日本の象徴であると感じます。江戸時代の浮世絵に描かれ、日本に来た外国人が楽しみなのも富士山です。日本一の富士山は我われの誇りです。

伊豆の国市 馬場 弘好さん

二人の絆 賞。

- ・ 一度も登らぬは馬鹿。
二度登るのは大馬鹿。
でも、僕は三度登頂させていただきました。
本当に感動的なご来光でした。 伊豆の国市の大馬鹿より。

伊豆の国市 松下 大樹さん（49歳）

- ・ 西伊豆スカイラインから望む洛陽には見応えがある。
空も海も黄、橙、茜色と色合い良く染まり、水面は宝石の輝き。
富士山は西側しか見えないが、柔らかい色調は格別だ。
ちなみに大女優山本富士子は横顔を左方しか撮らせないという。

三島市 木部 博己さん（71歳）

- ・ 静岡県に生まれ育った者として、
見るだけでなく、一度は登って見たかった富士山。
還暦前にと友達の力を借りての涙、涙、感動の初登頂。
かぐや姫伝説の昔から、数々のドラマを作ってきた富士山に、
私の小さな足跡 残ったかな。

伊豆市 池田 康乃さん（61歳）

- ・ 「がんばれ富士山 日本一
がんばれなでしこ（ジャパン）世界一」

伊豆の国市 浅井 邦容さん（71歳）

- ・ 富士山が世界文化遺産になる事を祈るや切なる思いである。

「富士のヤマ 今日も気高く聳え立つ
朝夕眺めつ 八十路となりぬ。」

函南町 米倉 昭作さん（82歳）

- ・ 私の生まれ故郷は親孝行源丞内（げんじょうない）で有名な養老町です。
その養老町の小学校で、こんな道歌を教わりました。

「晴れてよし、曇りてもよし富士の山
もとの姿は 変わらざりけり。」

学業と部活動、生徒会活動の人間関係に悩んだ時、
この道歌を鑑に精進しました。

不惑のとき、勤務の都合で湧き水の流れる三島に越してきて永住することになりました。

青雲の志に燃え、血気にはやった時、先の道歌を口ずさみ自省しました。

古希を過ぎた今、秀麗な富士に向かって一言

「僕を育てた富士山ありがとう。日本の富士を世界の富士にするぞ。」

三島市 大橋 俊弘さん（72歳）

- ・ 「富士山はB29にもおがまれているよ。」

私たちが小学校4年生で川崎から河津に疎開する時、青い目のアメリカ人が小さい声と日本語でささやいてくれたことがあります。

まだ、日本が負ける前より、富士山ありがとう御座います。

伊東市 稲葉武子さん（77歳）

- ・ 世界中の人を魅了してくれてありがとう。
光と風と雲と花と
日本一のモデルさん、
また、僕がカメラを向けた時、その姿を撮らせてくださいね。

伊豆の国市 松下 大樹さん（49歳）

- ・ 「秀麗」という言葉はあなたのために存在します。
神々しく、威厳に満ち、それでいて穏やかな姿。
あなたは万人の心を高め、和ませます。
世界中の人々を永遠に魅了し続けてください。
ありがとう。富士山。

函南町 佐田 孝義さん（68歳）

- ・ 町工場を営んでいた時、外国人を雇用した。
どこの国の人たちも雄大な富士山に関心を抱き、登山を望んだ。
親善を重んじ、私が金剛杖を突いたのは四度。
現在は、撤去されたドーム型測候所の説明には、言葉の壁で
毎回、苦慮した。

三島市 木部博己さん（71歳）

- ・ 白き富士 今日も語ろう だるま山。
- ・ 麗峰を 仰げば富士は 天高し。
- ・ 待春や 光輝く 富士山と。

伊豆の国市 花房美代子さん

- ・ 一日の無事を守り、平凡なあたりまえの気分に……。雄大な富士の山。愛唱歌と共にさまざまな視線で詩人、写真家が紙面を賑わし、詠まれぬ日はない。

「富士山よ、至るところからあなたのお顔が見えますね。

優しく、時には激しく守っていてくださいね。」

ありがとう。

伊東市 網倉とよ子さん（72歳）

- ・ ありがとう

朝は一日頑張ろうって、元気をもらい

昼は姿が見える幸福感を与え、

夕には一日の無事を報告する。

本当に今日一日ありがとう。

伊豆の国市 松下 大樹さん（49歳）

- ・ オーイ富士山 毎日眺めているヨ。

あの震災にはビックリしたネ。

私たちも決して忘れないで、未来へ語り継いでいくヨ。

今度揺れるときは教えてネ。

何時も、いつも、私たちを見守ってくれて、アリガトウ。

オーイ、富士山。何時もいつも、感謝しているヨ。

船橋市 五十嵐 務さん（68歳）

- ・ 富士山よ。有史来、和の民に夢と希望を抱かせてくれてありがとう。

昨年、世界一の富士山景勝地「だるま山高原」から富士山に向かって人類恒久平和を希求して伊豆平和半島宣言をした。

今年、富士山の日に、第一回伊豆フェスティバル2012会場だるま山高原から、富士山に向かってひと言を叫ぼう。

“人間同士が殺しあうことの無い世界たれ”

伊豆市 関原 規由さん（64歳）

- ・ だれとでもツーショット

気軽に旅人と

春は菜の花と、夏にヒマワリ、秋ススキ、冬には氷の湖の白鳥たちと
控え目にしている相手を引き立てている。

日本一の麗峰さん。

伊豆の国市 松下 大樹さん（49歳）

「伊豆フェスティバル2012」報告書

- ・ フェスティバルの開催地。

23富士山の日、2012年2月23日午前10時より午後3時まで、伊豆市だるま山峠にあるパーキングエリアにて第一回伊豆フェスティバル2012を開催いたしました。

当日は大雨であったため、予定のイベントは半分も実施することが出来ませんでした。

(会場となるだるま山峠からの富士山の眺め)



- ・ 催事内容。

① 地元特産の鹿肉、椎茸、ワサビの試食会を行いました。

また、当日は伊豆市冷川で収穫されたうまい米日本一に輝いた「ニコマル」もあわせてご賞味いただきました。

(ニコマルは伊豆市冷川 杉本嘉一さんが栽培。)

② 「富士山に向かって何かひと言」メッセージの募集等。

伊豆日日新聞、中日新聞、新潟日報などの読者からメッセージを頂き、全作品を会場に展示いたしました。

・ メッセージの審査。

2月18日、静岡県東部地区で活躍をして居る市民団体「もくせい会」にお願いをして、優秀作品を選んでいただきました。



・ 優秀作の紹介。

最優秀賞。

「春がすみの空に、ふんわり浮かぶ富士山は母親。
幼い頃に聞いた温かい励ましの声が聞こえる。
寒風の中、凜として聳え、厳冬を乗り切る富士山は父親。
決して自分を甘やかしてはいけない、と諭す。
富士は我が心の支え」

(伊豆の国市立花 河合章二さんの作品)

次席優秀賞。

「おーい、お富士さん、
今んところあんたは静かで美しく、
日本をながめていてくれた。
近頃の日本はどうだい？
あんたも怒るとかなり怖いらしい。
これからも怒らないでほしいが
もし、怒る時は早めに教えておくれ。」

(伊東市八幡野 鈴木 功さんの作品)

・ 選考を終了して感じたこと。

- ① 皇太子殿下のお誕生日が2月23日だそうで、富士山の日、皇太子殿下の誕生日、ご自分の誕生日とが一緒だとのメッセージをいただきました。
- ② 311の大震災があったので、富士山の噴火を心配する意見が目立ちました。
- ③ 富士山が日本全体を守ってくれるようにとの願いがありました。
- ④ 自分が好きな山、との意見が圧倒的におおかった。
- ⑤ こんなご意見もありました。

「山道はずれて登ってみた。

裾野の原生林の不気味さ、自衛隊の射撃訓練、
登山道を外れた砂場の仮設トイレが使えない。
糞溜（ふんだめ）となって自然にかえれず、
紙や汚物が散乱していた。

裾野の数箇所

に 廃棄物が捨置かれていた。 残念な富士」

(北九州市から 皆岡門太さん)

・ 全作品の公表。

ご応募頂きました全ハガキは修善寺入り口にあるレストランの店頭に表示いたしました。（場所は修善寺総合会館入り口、店名は「修善寺の洋食屋」）

2月20日から22日まで展示をお願いいたしました。



・ 賞品。

50余通のご応募をいただきましたので、皆さんに賞品を差し上げるべく努力しています。

最優秀NPO法人伊豆開花クラブ大賞は愛知県岡崎市にアトリエを持ち海外の作品展でご活躍中の画家かみかぜいのうえさんの「赤富士」です。



下の写真は伊豆半島の形をした製作途中のキーホルダーです。

電子ペンを操る人が富士山と223の文字を刻印した、何処でも、手に入れることが出来ない賞品です。



- ・ 会場での粗品進呈。

会場にお越しいただいた方々にスポンサーからご提供いただいた粗品を進呈いたします。

写真は富士山のパッケージに入ったティッシュ・ボックスです。

なかなかいいでしょう。誰でも欲しくなりますよ、ネ。



伊豆日日新聞の報道記事。

地元の伊豆日日新聞に「伊豆フェスティバル2012」関連の記事を書いていただきました。ご好意に感謝して、掲載部分をご案内いたします。

新 聞 平成24年(2012年)2月24日 (金曜日)



伊豆市のふるま山高原 レストランハウスで24日、「富士山の日」の記念イベント「第1回伊豆フェスティバル」(以下「伊豆フェス」)が開催された。富士ロッジ「可憐花クラブ主催」が中心となり、県内外から応募があった56点の中から33点を表彰し、入賞者を表彰し、来場者に地元特産のシカ肉や生ワサビなどをサービス。伊豆市のふるま山高原

第1回伊豆フェス
メッセージ入賞者を表彰
河合さんの国最優秀賞

「富士は母、父、心の支え」

伊豆市の河合敏二さんの作品が選ばれた。入賞者には賞状と提供の福酒や鹿肉、手ぬりペンダントなどを贈った。

会場では、地元産の生ワサビやシカ肉を使った生ワサビ天婦羅、さまじい炭火焼きたまご、さらには「ニロマル」の炊きたまご飯やワサビそばなども用意された。

実行委員長の関根由田さんは「富士山を一望する素晴らしい眺めの下、地元のおいしい食材や特産品をアピールすることが目的。来年もまた開催したい」と話した。最優秀賞に輝いた河合さんの作品は次の通り。「富士は母、父、心の支え」。

親、幼い頃に別れた祖か、冬を乗り切る富士山は父、いどましの母が聞こえ、朝、決して自分を待たず、る空風の中、風(りん)としてはいけなさと静か、として(まひ)え、数、富士は我が心の支え」

「富士山の日」イベント多彩

中学生まで
子ども入場無料

三津シーパラ
保護者同伴

伊豆・三津シーパラダイスは23日、富士山の日にちなみ、子ども入場料を無料にする。大人(高校生以上)は名前に「富士」がつく人の入場料を無料にする。

対象は4才~中学生で、沼津市、三島市、富士宮市、下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町在住の子ども。保護者が同伴し、在驻地域を証明するものを提示する。

伊豆・三津シーパラダイスのホームページ(日P)のリンクから「富士山の日」イベントページを表示。プリントアウトした紙を提示するか、モバイル画面を提示する。問い合わせは伊豆・三

津シーパラダイス(電0550)0443(2)3331)へ。HPアドレスは<http://www.seapara.jp/>

三島で健康づくり講演会

県総合センター

県は23日、三島市谷田の県総合健康センターで「富士山の日健康づくり講演会」を開く。講演を担った健康づくりや、長生会の結びつきなどについて、専門家が講演する。参加は無料。

午後1時半から4時まで、財団法人日本健康開発財団研究調査部の早坂信哉部長が「県地域健康を担った健康づくり」をテーマに、独立行政法人国立研究・栄養研究所、栄養教育研究所の高田和子・栄養ケアマネ

ジーン・研究部長が「県は佳句で長生を? 県高齢者実態調査(コホート研究)報告から見える老化と」と題して講演する。

定員200人(先着順)。申し込み、問い合わせは県総合健康センター(電0550)073(7)000)へ。

有料利用者に天然水配布

県道路公社

「富士山の日」を記念し、県道路公社は23日、有料道路利用者に記念品をプレゼントする。

記念品は「富士山麓の美しい天然水」(ペットボトル500ml)。

「富士山の日」コメント入りポケットティッシュ、「富士山の日」リーフレットなど。東部地区の配布場所は伊豆中央道

料金所、修善寺道路六仁料金所、伊豆スカイライン熱海峠料金所、箱根スカイライン料金所の4カ所。午前10時から各200本(箱根は1000本)を先着順に配布する。

表彰や地元特産品を試食

だるま山レストハウス

伊豆市のだるま山高原レストハウスで23日「富士山の日」を記念したイベント「第1回伊豆フェスティバル2012」(NPO法人伊豆開花クラブ主催)が開かれる。

広く公募していた「富士山に向かって何か」と題「メッセージの表彰をはじめ、地元特産のシカ肉、シイタケ、ワサビ、うまい米日本一に輝いた「ニコマル」の試食会がある。午前10時~午後3時、問い合わせは同クラブの関原さん(電0990)5078(1)510)へ。

写真集。伊豆半島から見た富士山。

富士山は、日本中、何処から眺めても美しく見えるので、誰からも愛される日本一の山ですが、私たちが住んでいる伊豆半島からも美しい富士山の姿を望むことができます。

その中から、いくつかのベストポジションをご案内いたしますので、近くをお通りの際には車をとめて、富士山の華麗な姿をご鑑賞ください。

①伊豆の国市韮山地区の田園地帯から望むと宝永山が真正面に入り、正三角形の富士山を望むことができます。

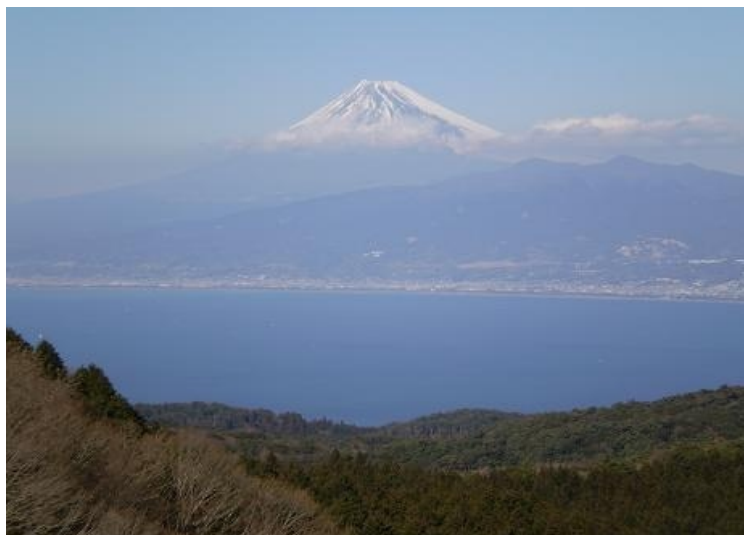


②伊豆の国市の大仁地区から伊豆長岡駅に向かう136号線の途中、狩野川越し、左前方に富士山を望むことができます。伊豆の国市の中では1、2を争う美しさだと言われています。



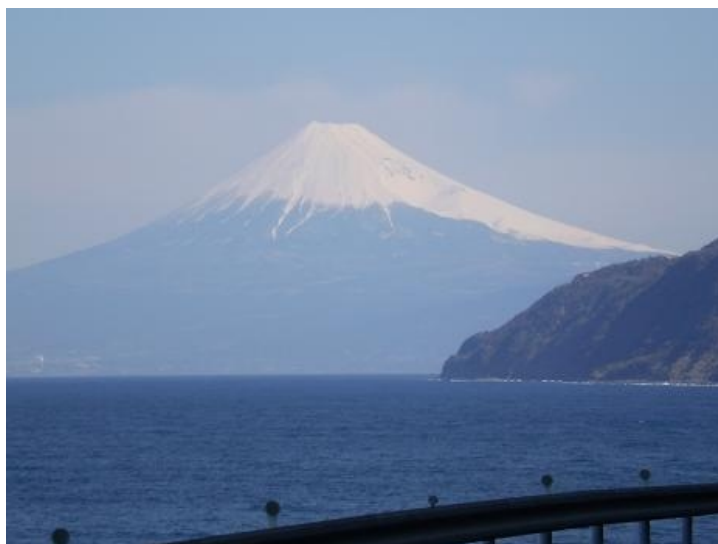
③1939年、ニューヨーク世界博覧会に出品されただるま山峠からの遠望です。日本が出品した富士山の写真は一週間以上の時間をかけて撮影した快心作で、後々の世まで語り継がれる写真となりました。

撮影した場所は伊豆市だるま山峠で、今回、我われがイベントを開催した場所です。現在でも、その素晴しさは少しも変わることはありません。伊豆半島にお出かけの際には、ぜひ、だるま山峠にお立ち寄りください。



④西伊豆海岸線からのドライブコースも必見です。

駿河湾をはさんで遥かかなたに聳え立つ富士山は正しく秀峰富士です。南伊豆、雲見の辺りから北に向かってドライブをすると、海の向こうに富士山が見えます。





「富士山に向かって何か一言」メッセージ募集の全作品を、電子ブックとして上奏することができたことは大変光栄です。

これから先、NPO法人伊豆開化クラブを運営するメンバーは時代と共に代わっていくことになるでしょうが、富士山はこれから先、30年、40年、あらゆる風雪に耐え人々の心を勇気づけてくれることになるでしょう。

2012年に第一回がスタートした「富士山に向かって何か一言」。
このささやかなトライアルが、今後とも末永く継続・発展していく事を願いたい。

NPO法人 伊豆開化クラブ 五十嵐 務

松岡 忠臣

富樫 晶子

高橋 清江

井 邦容

浅

富士山に向かって何かひと言。

<http://p.booklog.jp/book/46101>

著者：NPO法人 伊豆開花クラブ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/izukaikakurabu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/46101>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/46101>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.